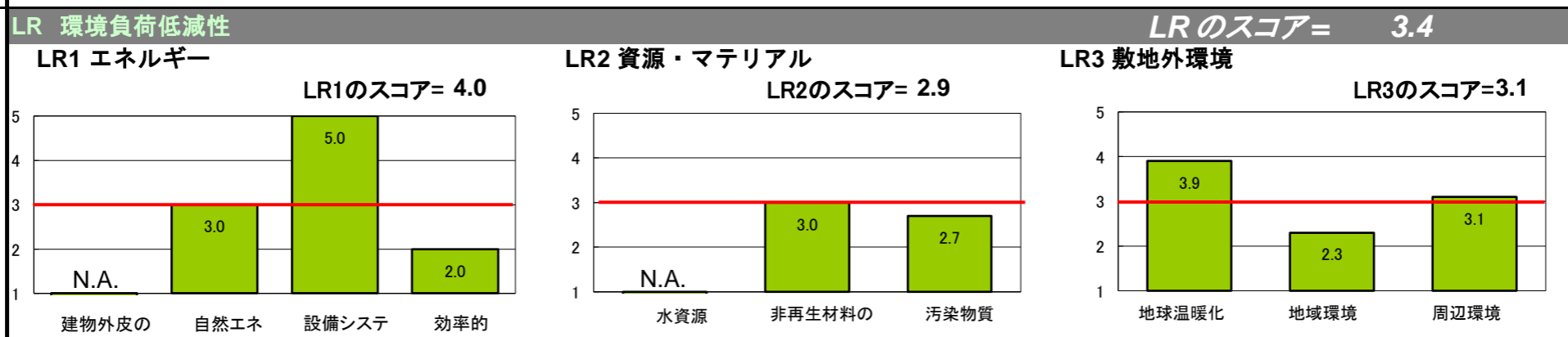
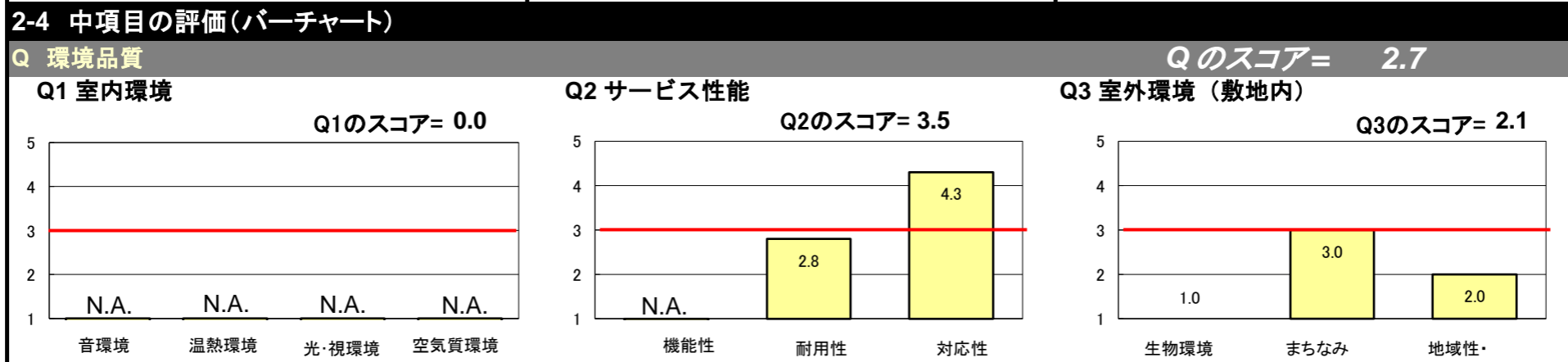
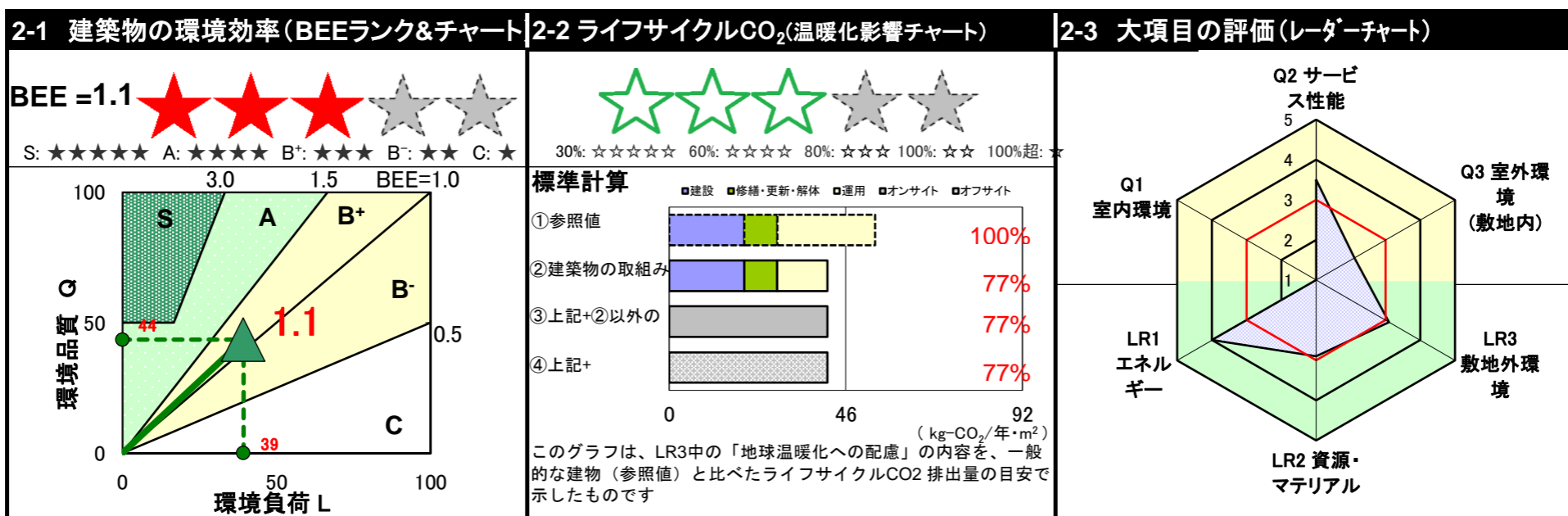


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	千代田合成株式会社 武豊工場 第5期増築	階数	地下0階地上4階
建設地	愛知県知多郡武豊町大字高貴字高代6-15、6-16、8-29、18-18	構造	S造
用途地域	工業専用地域、市街化調整区域	平均居住人員	16人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年10月26日
敷地面積	3,862 m ²	作成者	山本 康博
建築面積	1,501 m ²	確認日	2020年10月28日
延床面積	2,713 m ²	確認者	山本 康博



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.9</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>27.1 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.3</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
					評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質										2.7	
Q1 室内環境										-	
1 音環境										-	
1.1 室内騒音レベル				3.0	-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音				-	-	-	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	3.0	-	-	
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	3.0	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	3.0	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	3.0	-	-	
1.3 吸音				-	-	-	-	3.0	-	-	
2 温熱環境										-	
2.1 室温制御				-	-	-	-	-	-	-	
1 室温				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
2 外皮性能				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
2.3 空調方式				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
3 光・視環境										-	
3.1 屋光利用				-	-	-	-	-	-	-	
1 屋光率				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	-	-	-	
3 屋光利用設備				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-	-	-	
1 屋光制御				5.0	-	-	-	3.0	-	-	
3.3 照度				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
3.4 照明制御				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
4 空気質環境										-	
4.1 発生源対策				-	-	-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
4.2 換気				-	-	-	-	-	-	-	
1 換気量				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
2 自然換気性能				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
4.3 運用管理				-	-	-	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能										3.5	
1 機能性										-	
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
3 バリアフリー計画	独自			3.0	-	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-	-	-	
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-	-	3.0	-	-	
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-	-	-	
3 内装計画				3.0	-	-	-	-	-	-	
1.3 維持管理				-	-	-	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性										2.8	
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.5	2.8	0.52	-	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.0	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②			-	3.0	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	3.0	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23	-	-	-	-	
2.4 信頼性				0.1	2.2	0.19	-	-	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	1.0	0.25	-	-	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	-	-	-	-	-	-	
3 電気設備				3.0	3.0	0.25	-	-	-	-	
4 機械・配管支持方法	②			3.0	3.0	0.25	-	-	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	2.0	0.25	-	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	
② 資源の有効活用				3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.3	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.22	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:27.1%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	既設工場と色や材質を同等とし、統一感を持たせることにより周辺景観・環境との調和を図っている。
Q1 室内環境	計算対象外。
Q2 サービス性能	階高を高くすることにより室内環境にゆとりを持たせ、空間の自由さを確保した。
Q3 室外環境(敷地内)	既設工場と色や材質を同等とし、統一感を持たせることにより周辺景観・環境との調和を図っている。
LR1 エネルギー	照明器具算定において省エネ基準を満たし、エネルギー消費低減に努めた。
LR2 資源・マテリアル	躯体+軽鉄+仕上げ材とすることで、容易に分別可能とした。
LR3 敷地外環境	照明は光害対策ガイドラインのチェックリストにて確認している。
その他	